

問1 第一次世界大戦後、中国では外国勢力の進出に反対し、国家の主権を確立しようとする運動が強まりました。この時期の中国政治の動向について、その背景と内容を正しく説明しているものを選んでください。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 日本の大陸進出に対する反発から民族意識が高まり、国民党と共産党が協力して国内の統一を目指す体制が整えられた。
2. ベルサイユ条約でドイツの権益が中国に返還されなかったことを機に、共産党が単独で政権を樹立して国内を統一した。
3. 第一次世界大戦による経済的混乱を避けるため、中国は日本と軍事同盟を結び、国民党が議会の主導権を握った。
4. 内乱を鎮めるためにソ連の軍隊を招き入れ、国民党と共産党が対立を深めることで、清の支配体制を復活させた。

問2 関東大震災の翌年に作成された資料では、都市の基盤整備の重要性が説かれています。この事業において、道路の幅を広く広げたり、土地区画整理を行ったりした目的として最も適切な説明はどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 避難を容易にするとともに、火災の延焼を防ぎ、物資の運搬を効率化するため
2. 路面電車の網を全国に広げ、地方から都心への人口移動を促進するため
3. 大規模な地下街を建設し、空襲に備えた防空壕を確保するため
4. 外国の資本を積極的に導入し、輸出向けの工業団地を整備するため

問3 第一次世界大戦後から世界恐慌が始まるまでの期間に行われた政治改革について、1925年の出来事として最も適切な記述はどれですか。（2020年 愛媛公立入試 類似）

1. 加藤高明内閣が、納税額による制限をなくし満二十五歳以上の男子に選挙権を認める法律を成立させた。
2. 伊藤博文内閣が、天皇を主権者とする大日本帝国憲法を公布し、近代国家の体制を整えた。
3. 原敬内閣が、日本で最初の本格的な政党内閣を組織し、平民宰相として国民の期待を集めた。
4. 板垣退助が、国会の開設を求めて愛国公党を結成し、自由民権運動を開始した。

問4 1912年、軍備拡張をめぐる対立から西園寺公望内閣が倒れた後、陸軍の力を背景に3度目の内閣を組織しましたが、国民による「閥族打破」の激しい反対運動によってわずか50日余りで退陣に追い込まれた内閣はどれですか。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 桂太郎内閣
2. 原敬内閣
3. 大隈重信内閣
4. 板垣退助内閣

問5 1920年代半ばから昭和初期にかけての日本の政治状況について、普通選挙法と治安維持法が同時に制定された理由を背景とした記述として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 満州事変の発生を受け、軍部が政治的主導権を握るために国民の自由を全面的に制限する必要があったため。
2. 有権者の範囲を拡大する一方で、それによって勢力を伸ばすと予想された社会主義的な運動をあらかじめ封じ込めるため。
3. 世界恐慌による不況から脱出するために、労働者のストライキを法的に禁止して産業の再生を優先したため。
4. 国際連盟への加盟にあたり、近代的な法治国家としての体制を整えるよう諸外国から強く要求されたため。

問6 1919年のパリ講和会議で結ばれたベルサイユ条約において、ドイツにすべての植民地を放棄させること以外に、二度と惨禍を繰り返さないために新しく設立されることが決まった国際的な平和組織は何か。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 国際連盟
2. 国際連合
3. 北大西洋条約機構
4. 欧州連合

問7 大正時代、岩手県出身の原敬が組織した内閣は、日本で最初の「本格的な政党内閣」と呼ばれます。当時の衆議院において165議席を占める最大会派を基盤としていましたが、このとき大臣の多くを構成していた政党の名称として正しいものを選択してください。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 立憲政友会
2. 憲政会
3. 立憲国民党
4. 自由党

問8 1910年代後半から始まった原敬内閣の政治的背景とその内容について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 新潟県公立入試 類似）

1. 衆議院の第一党である立憲政友会の総裁が首相となり、主要な閣僚をその党員で構成した。
2. 内閣総理大臣が議会を無視して政策を決定する、超然内閣の仕組みをさらに強化した。
3. 自由党の党首を中心として、日本で最初の政党内閣である通称「隈板内閣」を組織した。
4. 日露戦争の軍費調達を目的として、国民に増税を強いるために藩閥勢力が組織した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本の大陸進出に対する反発から民族意識が高まり、国民党と共産党が協力して国内の統一を目指す体制が整えられた。	大戦中の「二十一か条の要求」や、大戦後のパリ講和会議で山東省のドイツ権益が日本に引き継がれたことに対し、中国の民衆は強く抗議しました。こうした背景から、バラバラだった勢力を結集させる必要性が認識され、孫文率いる中国国民党と、新しく結成された中国共産党が手を結ぶこととなりました。この協力関係は、国内を武力で支配していた軍閥を排除し、中国を一つの国家としてまとめ上げる原動力となりました。
問2	答え 1 避難を容易にするとともに、火災の延焼を防ぎ、物資の運搬を効率化するため	震災時の大規模火災を教訓に、道路を防火帯として機能させることや、災害時の避難ルート・物資輸送路を確保することが最優先されました。これは「災害に強い都市」を作るための合理的な背景に基づいた施策です。
問3	答え 1 加藤高明内閣が、納税額による制限をなくし満二十五歳以上の男子に選挙権を認める法律を成立させた。	1925年は第一次世界大戦後の大正デモクラシーが最高潮に達した時期にあたります。加藤高明内閣は、それまで一定以上の納税が必要だった選挙権の枠組みを改め、満二十五歳以上のすべての男子に選挙権を認める普通選挙法を成立させました。これは日本の議会政治における大きな転換点となりましたが、女性への参政権が認められたのは第二次世界大戦後のことです。
問4	答え 1 桂太郎内閣	第3次桂太郎内閣は、陸軍の増師要求が通らなかったことを理由に総辞職した西園寺内閣の後を受けて成立しました。しかし、国民からは藩閥政治の象徴として激しい批判を受けました。この時、野党の犬養毅や尾崎行雄らが中心となって第一次護憲運動が起こり、桂内閣は国会を取り巻く群衆の抗議の中で退陣を余儀なくされました。
問5	答え 2 有権者の範囲を拡大する一方で、それによって勢力を伸ばすと予想された社会主義的な運動をあらかじめ封じ込めるため。	加藤高明内閣が実施した政策は「アメとムチ」に例えられます。普通選挙法の制定によって労働者や農民などの幅広い階層が政治に参加できるようになる一方で、ロシア革命の影響などで高まっていた共産主義や社会主義の動きが議会政治に入り込むことを防ごうとしました。このように、参政権の拡大とセットで思想・言論の統制を強めるという二面性を持った政策が進められました。
問6	答え 1 国際連盟	ベルサイユ条約の大きな特徴の一つとして、アメリカのウィルソン大統領が提唱した「十四か条」に基づき、世界平和を維持するための人類史上初の国際組織が創設されたことが挙げられます。しかし、提唱国であるアメリカ自身は議会の反対により不参加となるなど、その後の運営には課題が残りました。
問7	答え 1 立憲政友会	1918年に組織された原敬内閣は、陸軍・海軍・外務の各大臣を除き、すべての閣僚を衆議院の第一党であった立憲政友会の所属議員から選出しました。それまでの内閣が官僚や軍人を中心に組織されていたのに対し、選挙によって選ばれた国民の代表が政治の中核を担う形となったため、本格的な政党内閣と位置づけられています。
問8	答え 1 衆議院の第一党である立憲政友会の総裁が首相となり、主要な閣僚をその党員で構成した。	原敬は衆議院で第一党の議席を持つ立憲政友会を基盤として内閣を組織しました。それまでの藩閥政治から、議会の多数派を基盤とする政党政治への移行を示す出来事であり、陸・海・外相以外を党員で固めた点が「本格的」とされる理由です。